

2015年
入試用

学校説明会レポート



市進

文教大学付属中学校・高等学校

日時 2014年 6月18日(水) 10時30分~11時30分
所在地 品川区
会場 講堂
対象 塾
出席者数 約100名
配付資料 学校案内 説明会資料 説明会レジュメ 新キャンパス案内など

説明会の概要

あいさつ

校長 星野先生 10:30~10:50

- 文教大学の学園全体の建学の精神は「人間愛」です。その基盤の上に、5年前からさまざまな改革を行ってきました。3年前に私が着任して、それらの改革の中で何が生徒に最も重要かを考えたところ、基本は生活環境を整えること、つまり学習する環境を作ることだと思い至りました。
- 3年前、生徒の自宅での学習時間は平均40分でした。それを2時間にしようと、宿題・課題を出す、それをチェックして生徒に返すなど、先生方全員で取り組みました。まず、中学1・2年生の学習時間が増えました。次に中学3年生と高校3年生、最後に高校1・2年生の学習時間が増え、1年間で目標としていた2時間を達成できました。今では、放課後いたるところで生徒の自習する姿が見られ、保護者の方々から、文教は変わったね、と言われるようになりました。
- 次にはそれを、本校の「進学力」につなげていく必要があると考えています。あと数年後には大学合格実績として結果を出したいと考えており、2014年春には東大卒の教員も採用しました。
- もうひとつの目標として、「世界に羽ばたこう!」を掲げています。マレーシア修学旅行や、オーストラリア研修を実施しています。特に、オーストラリア研修では、オーストラリアの州の教育省と交渉し、3・6・9・12カ月間の長・中期の研修を設定しました。都の私学協会からは500万円の補助金を頂くことができ、補助金を受けた生徒5名、自

費での参加者4名の計9名が今オーストラリアに行っています。

- 「PORT（港）」をコンセプトとした新校舎建設のⅠ期工事が終了し、中学の教室や講堂が新しくなりました。全ての工事が終わるのは2016年6月の予定です。

中学入試について

中学教頭 四方先生 10:50~11:05

- 【変更点】 中学入試→（なし）
- 2014年入試では、志願者が2013年と比べて約100名増えましたが、合格ラインを2013年入試と同じにしたため、合格者が多くなりました。その結果、144名募集のところ151名の入学者となりました。
- 2015年入試は、日程・入試科目など、2014年入試と変更なく行う予定です。
- 特待生は、1~5回入試で国語・算数とも85点以上を得点した生徒が対象となります。
- 受験しやすい学校を目指していて、1回2万円の受験料で1~5回全ての回が受験可能です。第1回を含めて3回以上受験した場合、3回目の合否判定で優遇があります。
- 手続きの締め切りは、第5回の入試のみ2月10日になっており、公立中高一貫校の結果を見てから手続きができます。

高校入試について

高校教頭 菅沼先生 11:05~11:15

- 【変更点】 高校入試→（なし）
- 2014年入試では、120名募集のところ、思いがけず多くの生徒さんが受験してくださいました。推薦では募集60名に対して88名の応募者があり、全員を合格としました。一般では、受験生の公立高校志向が強いため、多めの合格を出した結果、付属中学からの入学生約120名を含めて、予定より1クラス多い7クラス編成でスタートしました。
- 2015年入試では、付属中学校からの入学生が110名しかいませんので、130名の募集（推薦65・一般65）となります。日程は、推薦が1月22日、一般が2月10・12日で2014年と変更ありません。
- 推薦入試の作文は、出願時にその題がわかるので、事前に準備ができます。
- 一般入試では、併願優遇制度を設けています。12月15日以降に入試相談を受けてください。入学手続きの締め切りは、第一志望校合格発表日の翌日16時までです。
- 2月10日の入試では特待生制度が設けられていて、3教科とも85点以上得点した生徒の中の、上位10名が対象となります。
- 推薦・一般とも英検・漢検3級以上や、スポーツ・芸術での実績、生徒会役員などでの加点を2点まで認めています。英検準2級はそれだけで2点の加点となります。
- 一般入試では、合格ラインのマイナス10~15点に単願のサブボーダーを設けています。本校が第一志望の受験生は是非単願で受験してください。

進路指導について

進路部長 荒木先生 11:15~11:30

- 2014年春の大学合格実績では、特進クラスを中心に GMARCH への合格者が増えました。特に語学系の合格者数が伸びたのは、高校3年生で実施している毎朝の英語講習の成果ではないかと考えています。週37時間授業で、7時限まで授業という日が週3回あります。
- 国公立大への合格者を増やしたいと考えていて、アドバイザー制度を設けているほか、上位の生徒に取り出し指導を行っています。
- 文教ステーションと呼んでいるチューターが常駐して自学自習を支援するシステム、毎朝授業前に英語・漢字・数学の小テストや読書をする「アサガク」、基礎鍛錬プログラムである放課後の「寺子屋」などを実施して、自学自習が習慣化するようにサポートしています。
- 生活記録ノートを配布し、毎日の勉強時間を記入するようにしています。それを月1回集計し、自分の学習時間を確認します。教員が毎日コメントを書くので、先生と生徒とのコミュニケーションツールともなっています。学習時間が増えた結果、高校3年生の勉強への意識が変わってきているのを感じています。これからも改革のスピードを緩めることなく、前へ進んでいきたいと思います。

説明会の雰囲気・印象

- 多くの先生方が説明会の運営に協力されていて、先生方が団結している学校という印象を受けました。また、校長先生の説明はとても説得力があり、今後の学校改革に期待が持てると感じられました。

学校周辺の環境

- 古くからの一戸建てが多い住宅地の中にあります。

交通

- 東急大井町線 旗の台駅・荏原町駅から 徒歩3分
都営浅草線 中延駅から 徒歩8分